

月刊

ひでかひ



10

2005

今月のコンサート

9月25日に東京こまばエミナースにて「SKiの生誕13年祭」が行われました。メンバー紹介は衆議院選挙の結果についてとSKiが13年続いた秘訣について。選挙についてはよく解らないけど大人は大変だな～と祐奈ちゃん(^^;)。美香ちゃんは反対するだけでは勝てないと分析します。選挙権を得た伶奈ちゃんは、初めての投票に結果が気になってTVにかじり付いていたそう。秘訣については絆があるからと妃奈子ちゃん。SKiを愛する気持ちがあるとりりかちゃん。応援してくれるお客さん、支えてくれるスタッフやOG、そして素敵なメンバーがいたから13年続いているようだ。ここで悲しいお知らせも。岡本璃奈ちゃんが家庭の事情で退会になったとのこと。直前までレッスンをしていた、突然決まったようだ。続いて気になるコーナースペシャル。今回はビデオ会報の様にニュースのオンパレードです。新宿奉納芸能に13年ぶりに登場。日本大学中高キャンパスの文化祭で片平・松尾演出によるファッションショー開催、橋本美香・松尾真冬の『DUET』リリース。2006年版カレンダーリリース。PANTA & 中川五郎 with SKiの関西ツアーや『DUET』の関西キャンペーンも告知されます。「行ってらっしゃ～い」と手を振るお客さん(笑)。帆奈美ちゃんの気になる事は「伶奈さんがどうしてこんなに綺麗なのか?」。伶奈ちゃんの顔が緩んだところで「冗談は置いていて...」と落とします(^^;)。11期生の募集が始まったそう。TVに出たいとか、なんでもいいからというのはダメで、活動コンセプトをしっかりとった娘とのこと。MCテーマは「食欲の秋に真っ先に食べたい物」「私の好きな先輩」。伶奈ちゃんの食べ物は秋刀魚。猫たちと戦いながら食べているようだ(^^)。美香ちゃんの好きな先輩は本田博子ちゃん。同い年だけど頼りになったそう。梓ちゃんは妃奈子ちゃん。駄洒落がすぎて柔軟な頭に憧れているようだ。伶奈ちゃんは吉成圭子さん。アイドルの鏡だそう。.....(^^;)。

第1部は生誕13年祭式典。「電報で～す」と伶奈ちゃんと梓ちゃん。多くの祝電が届いて、幾つか紹介されました。OGの秋山文香ちゃんからあったようだ。続いて13年間の印象的な出来事を紹介。三年目にIJRの設立。こちら10周年を迎えます。海外ツアーも行われ、ニューヨークやベトナム、そして韓国へも行きました。沖縄ツアーは乱気流で大変な思いをして貴重な体験になったようだ。RFJやALIVEなど各種団体さんとの出会いもありました。番外編では、スタッフの手違いで廃棄された制服があるらしい。第2部はリーダー継承式。まずは7代目の伶奈ちゃんから挨拶。初めは不安だったが、やれるところまでやってみようとして始めて、メンバー達に支えられてここまでやって来られた。「偉くなるほど頭を下げないといけない」との祖母の言葉を受けて、みんなに目を向けて来たそう。自分がしなきゃと思う毎に得られる物があって、リーダーとして学ばされたことが沢山あるとのことでした。8代目リーダーは真冬ちゃん。3名のリーダーを見て大変さが分かり、出来るかなと不安になって話が来た時は悩んだけど、SKiが大好きだから自分なりに引っ張って行ければと決心したようだ。継承式をみると懐かしいと会長的美香ちゃん。何度見ても良い物だと思うそう。それぞれなりのリーダーがいて、それぞれの世代にバトンタッチして、新たなグループを作っていければ良いと思うとのこと。伶奈ちゃんが入った頃から存在感があって、持っているパワーを大切にしたいとねぎらいの言葉を掛けていました。真冬ちゃんは最年少リーダーになりますが、メンバーで支えて行ければと励まして継承式は終了しました。

雰囲気が一転し、伶奈ちゃんが一身上の都合で退会すると言葉を詰まらせて言う美香ちゃん。突然の事に会場が静まり返ります。ここで史上初の生誕祭における卒業式が行われました。

『ともだち』の振りの中で伶奈ちゃんに力を込めてタッチする梓ちゃん、悲しさを押し殺しているようでした。花束贈呈にOGの遠藤舞香ちゃんと小林万里奈ちゃんが登場しました。贈る言葉を祐奈ちゃん。寂しい気持ちがいっぱいだそう。嫌だ~~~~っ!」と一声してから贈る言葉をりりかちゃん。お姉さんのからお母さんの存在で、勇気や優しさを教えてもらったそう。いつも相談に乗ってくれてアドバイスをもらったけれど、伶奈さんの事は聴いてあげるだけしか出来なかったと真冬ちゃん。早くきちんとしたリーダーになって安心させたいと心に誓います。突然こんな形になって驚いた方が多いのではと伶奈ちゃん。いろいろあってここでの卒業を決めたそう。リーダーを継承していないというのが心残りにあったそうで、今日ここで継承した事で安心して心おきなく卒業できるとのこと。SKiの活動は、4年半と思えないほど短いひとときだった様だ。伶奈ちゃんから一人一人にお返しの言葉が贈られ、涙を堪えるメンバー。受験休み中だった梓ちゃんと帆奈美ちゃんは、伶奈ちゃんが卒業する為に駆けつけてくれたそう。そしてファンの方へ。人見知りが激しくて、こんなに冗談を言えようになるとは思わなかったそう。イベントが楽しくて、ありがとうございましたと感謝の言葉を。たくさんの方に逢えて良かった、SKiに逢えて良かったと伶奈ちゃん。家族にも「ちゃんとお礼が言えなくてごめんなさい」と涙を流していました。もらい泣きの美香ちゃん、贈る言葉と言われても卒業が信じられなくて言葉が出ないようだ。伶奈ちゃんの良いところは懐の暖かさで、伶奈ちゃんが率いたから朗らかで優しいメンバーになったと思うとのこと。OGがたくさん駆けつけたのも伶奈ちゃんの人柄で、これからもOGを引き連れてコンサートを見に来てと声を掛けて、卒業式は終了しました。

第3部はファンクラブSKi継続会員表彰式。長年ファンクラブを続けてくれたお客さんに感謝の意を表して表彰します。もう6回目になるようだ。表彰状を読み上げる真冬ちゃん。リーダー初仕事ですね。対象の方の名前が読み上げられ、なぜか爆笑が起こります(^^;)。

続いて来場したOGの紹介を。舞香ちゃんや万里奈ちゃんの他に、森野加奈ちゃん・斎木春香ちゃん・高田唯ちゃん・梶原ひかるちゃんが祝福の言葉を。ステージには出ませんでした。石澤彩乃ちゃんと吉田梢ちゃんも駆けつけてくれていたようでした。20分の休憩後に、第4部「祝! SKi 7代目リーダー河野伶奈ソロ・ライブ」。『未熟な時間』から最初で最後の作詞曲となった『Photograph』、SKiで一番好きな曲『いつか見た夢』を含め6曲を披露。コーナー最後は『津軽海峡冬景色』(^^;)。ドレス姿の伶奈ちゃんに酔いしれていました。

第5部は新曲発表コーナー。『星の船』『お墓参り』『雨上がりの景色』をアコースティックに披露。最後は初披露の新曲(^^;)の『出会い』を。人との出会いで人生が変わり、もし出会わなかったら今の私は違う道だったかもしれない。という思いが込められているようだ。

第6部はゲストコーナー。なんと寿隊が登場します。これが伶奈隊長の最後の晴れ舞台です。『華の乱』『お気の毒』『純愛第二章』を力強く熱唱。ステージ上を駆け回っていました。

最後の第7部は結成14年目のスタート記念LIVE。『輝く未来』でしっとりと幕を開けます。終盤は『心の行方』『Let's Get,STAR』など伶奈ちゃんのボーカルが続いて、最後は『DANCE DANCE DANCE』で盛り上がります。伶奈ちゃんの姿がもっと見たいと、オマケへ突入。2度のオマケも『エピソード』で遂に終演です。最後の挨拶をしている伶奈ちゃんに、メンバーからメッセージを書き込んだクマのぬいぐるみが贈られ、終始笑顔で頑張っていた伶奈ちゃんの目から涙がこぼれます。感動の中で幕は下りていきました。

今月のきゃ～んぺ～ん

10月1日に横浜ランドマークプラザ店にて2006年カレンダー発売記念キャンペーンが行われました。メンバーは橋本・松尾・星川・片平・結城の5人。真冬ちゃんがリーダーに就任して初めてのイベントで、祝福の言葉が飛び交ったようだ。まずは自称知らないお客さんに向けてグループ紹介を(^)。ここで客席からカンペが登場(笑)。おもわず笑顔がこぼれますが、それを見ようとせずに力強く説明する真冬ちゃん。曲の前に立ち位置を移動する美香ちゃん、真冬ちゃんの後を通りますが、コードがある為抱きつくようにしてマイクを真冬ちゃんの前で通します。思わずゾクッと来た真冬ちゃんでした(^)。まずは『恋のパカンス』を熱唱。レパトリーの紹介をして、オリジナル曲から真冬ちゃん作詞の『小さな私』を。SKi基金の説明では、募金活動もしているので、見かけたらよろしく願いますとのことでした。3曲目に『お墓参り』を披露。しみりと美香ちゃんが歌い上げました。雰囲気が一変してクイズ大会へ。メンバー3名が三択問題をだして、正解者にはサイン色紙が贈呈されます。まずは妃奈子ちゃん。一番好きな中華料理。海老チリ・肉まんを押さえて杏仁豆腐が好きらしい。真冬ちゃんはメンバーからお菓子を2種類貰ったそうで、貰ってない物を出題。黒糖胡桃とポッキーは貰ったが、種無し梅は貰ってないそうだ。それってよこせてこと?(爆)。美香ちゃんはSKiのレパトリーの曲数。880曲は凄いですよねえ。『My Generation』の後、今後の予定で関西ツアーを告知すると、「行ってらっしゃい～」と手を振るお客さん(^)。最後は『天使の翼』。ミュールを履いていた美紀代ちゃん、ステージの継ぎ目に引っかけて脱げてしまうハプニングもあったようだ。

10月2日は池袋アルパ店特設会場。メンバーも昨日と同じ5名です。今回も前半をアコースティックでスタート。『この世で一番キレイなもの』『イムジン江』と続いてMIMAのハーモニーが会場を包みます。ボランティア活動について妃奈子ちゃん、今日も施設が主催したお祭りに参加して来たそうだ。何曲か歌って、手拍子をしてくれたりして楽しかったようだ。3曲目は『お墓参り』。曲を聴いて目頭が熱くなる方がいたようだ。しみりモード禁止なのに(ぼそ)。そんな気分を吹き飛ばそうと、クイズコーナーで盛り上がります。正解者にサイン色紙は昨日と同じです。今日は通りすがりのお客さんがいないから安心だな(笑)。妃奈子ちゃんからは「現在」のメンバー数。これって実は難しい問題なんですよ(苦笑)。でもさすがに100人はないよなあ(^)。真冬ちゃんは自分の役職を出題。「お茶くみ」などボケを用意しているお客さんには当たらなかったようだ(笑)。美紀代ちゃんは嫌いな食べ物。きのこがダメなようです。ピーマンは大丈夫なんですね。「ふいんき」を変えて『Sky』を披露。3人は寂しいですね。コンサートのお知らせをりりかちゃん。ラジオで情報が流れているのでチェックしてくださいとのことでした。関西ツアーの告知に手を振るお客さんに、来てくださいね♡と妃奈子ちゃん。最後は『Volunteer Spirit』。ようやく5人が揃って登場。今日の美紀代ちゃんはスニーカーでした(^)。握手会ではBGMに『お墓参り』が流れます。「しみりモード禁止なんですけどぉ」の声が掛かって、「じゃあどおしたらいいのぉ～」と困る美香ちゃんでした(^;)。

10月9日は秋葉原のヤマギワソフト館8F イベントスペース。リフォームされて壁が真っ白になっていました。今までのサインは何処へ？ 今回は橋本・松尾・星川の3人です。今日はブーツではなくパンプスのりりかちゃん。片足の包帯が目につきます。学校で挫いてしまったらしい。グループ紹介ではちょっと囁んでしまう真冬ちゃん。まだまだ慣れないようだ。1曲目は『出会い』。あれ、コンサートの時とメロディーが違うぞ。β版かなあ(^^)。レパトリーの紹介。そろそろカウントダウンの季節が近付いて、準備を始めているようだ。曲目表を見て「この曲もあったなあ」と思い出しているようだ。「この曲無くなったなあ」というのは無しにしてね(^^;)。2曲目の『ALIVE』に続いて SKi 基金について。募金活動を見かけたらご協力お願いしますと真冬ちゃん。『DUET』はレコーディングも終わって、いよいよ発売されるようだ。いろいろなギタリストの方に協力して貰って勉強になったそう。楽しみにしてくださいねと美香ちゃんが言うと、「は～い」と元気に応える真冬ちゃん(^^)。3曲目は『お墓参り』。美香ちゃん作曲のオンパレードです。続いてクイズコーナーへ突入。りりかちゃんの問題は SKi に入った時期(中一の夏)。立派に成長しましたねえ(うるうる)。美香ちゃんは今日飲んだミネラルウォーター(ヴイッテル)。これで売り上げが増すかな(笑)。真冬ちゃんは昨日家でしてないこと。「料理・DVD 鑑賞・部屋の掃除」で3番が正解。最後にしたのはいつでしょう(^^)。ここからはオケで『地球に愛を』を披露。りりかちゃんはヤマギワソフト館に来るのは初めてのようだ。関西ツアーの告知はいつものように手を振るお客さん。真冬ちゃんも「行ってらっしゃ～い」と手を振って突っ込まれていました(笑)。最後は『SKi のテーマ』。ポンポン隊がいないよ～(>_<)。握手会では『出会い』について聞かれた美香ちゃん、「また変わるかも知れない」らしい(^^;)。

10月13日に武蔵野公会堂にて「ベトナムアンサンブルコンサート 2005」が行われ、今年も SKi がゲスト出演しました。実行委員会の挨拶に続いて真冬ちゃんが登場。本公演の司会らしい。市長の挨拶の代読や曲目のアナウンスなどを務めていました。カタカナには苦労したようですが、漢字は振り仮名をつけたとか(笑)。SKi は最初に登場します。まずは美香ちゃんのアコースティック。『お墓参り』と『出会い』を披露。MC ではベトナムツアーやパネル展の話など。今後も戦争の悲惨さを伝えていくとのことでした。松尾・星川・片平の3人と入れ替わってグループ紹介。『戦争は知らない』に続いて SKi 基金やポイ捨て禁止キャンペーンについて説明します。続いて『黒い瞳』。ボランティア活動に対する決意を語って『Volunteer Spirit』を熱唱しました。本公演の方は、ベトナムの民族楽器を駆使して民族音楽や日本を含めた外国の有名曲を演奏し、独特の音色で観衆を酔わせていました。最近では一弦琴の DAN BAU の愛好家が増えているそうだ。石琴の演奏では熱が入ってハンマーが柄から外れてしまうハプニングもありましたが、高い音色が心地よく響いていました。終演後は真冬ちゃんが一人残って物販を。『DUET』は間に合わなかったようで、「待てないっ！ 気短さん用特別先行シングル」として『お墓参り/黒い瞳』の CD-R が発売されていました。期間限定品で、ラベルにタイトルをシールで貼り付けているというとても怪しい作りです(^^;)。本当に急遽作られた物らしい。まあ、発売日まではまだ2週間ありますから(汗)。



今月の月蝕

10月5～10日に「新撰組 in1944 ～ナチス少年合唱団～」、13～18日に「盲人書簡」が月蝕歌劇団創立20周年記念としてザムザ阿佐ヶ谷にて連続上演された。今回は木塚咲や三坂知絵子といったお馴染みの客演に加え、合沢萌・天正彩や工藤槇依、さらに Marvel Yell から8人等を迎えてにぎやかな舞台となった。「新撰組 in1944」は突撃隊の力を過信し軍をも抑えようとするレームに手を焼いたナチス宣伝部長ゲッペルスは、その暗殺のためアイ・レ・ンに依頼し新撰組を呼び寄せる。銃の供給を代償にレ・ムを暗殺した新撰組だったが、 로마の少女カリンやユダヤの少年ハンスと親しくなった土方はア・リア人種以外を劣等民族とするナチスに反発し追われる身となる。近藤・沖田を失い薩長軍に追い詰められた北海道共和国の土方。薩長は吉田松陰の教え「朝鮮・支那・台湾・フィリピンを治め、米英に備えよ」に従い、後に大陸で行う弾圧はナチスのそれと変わらないものだった。アイ・レ・ンは両親を大日本帝国陸軍(東洋鬼)に殺害されていた。その悲劇を食い止めようとしていたのだった。逃げ延びた土方は薬売りの歳三に戻り薩長の要人を暗殺し、遂には北海道共和国が勝利する。歩美ちゃんはちょうど明治維新を習ってるそうで、史実とごっちゃにならないか心配だ(笑)。今回はコップワイン(¥300)が販売され、担当の娘が注いでくれるとあってお神籤共々盛況で、どん槇依によって「月蝕ワイン」と名付けられた。お神籤は今回も凶が飴当たりだった(^^)。今回の戯画集でサインにaが足りなくて「知らんが」になってると突っ込まれた歩美ちゃん、誤字脱字満載の戯画集～と売り文句にしていた(笑)。しかしくじ売りの時にお釣りの計算でフリーズする事があり、「数学は苦手だけど国語は得意です。」と言いつつ？したらしい(^^)。「盲人書簡」は、寺山修司作品なのでレビュー・が書けません(爆)。手術の甲斐もなく失明した少年探偵団の小林は、実はめくらのフリをしているのだった。見たくない物を見ない為にめくらのフリをするうち本当に光を失うというお話(そうなのか?) 少年も年齢を取り、いつまでもそのままではいられないというお話でもある(本当か?) 光と影の作品なので、舞台を暗黒が支配し、マッチの火やハンドライトの灯がそれを切り裂く。寺山作品らしく、母親からの自立や娼婦の姿が描かれた。また鶏のウィリアム君や鯉が活躍したが、鯉が客席に飛び込むハプニングもあった。劇中唐突に「月食!」との台詞があるが、17日は本当に月食だったらしいが東京地方は雨だった。また15日の昼の部は幻想世界が崩壊するシーンが実際に体感できた(^^;)。ちなみに杉並区は震度4だったらしい。どん槇依は総督の息子と見合いをする少女役で、とてもか・わ・い・いのだが怒らせると怖いようだ(笑)。しかも、ミイラにやられてからミイラになったらしい。新撰組では男役だった合沢がお色気担当で、ずっとボンテ・ジ姿。花井美香ちゃんは手品師役や娼婦役でブリッジ等身体のしなやかさを魅せてくれた。新撰組で沖田を演じ喀血した笹生はこちらでも血を吐く娘。スプラッター・と呼ぼう(爆)。籤は「飴当たり」となっていますが、2日めからは飴でなく生写真に変更に。誰か食べたな(^^)。この写真はよりどり3枚¥700で販売されていた。また、籤は予定数を越える人気で、急遽出演していない役者や高取氏も書いたそう。カーテンコールでは寺山修司生誕70年にちなんで「戦争は知らない」を歌った。また、連続公演の楽には高取氏から20年を振り返っての挨拶があった。なお、歩美ちゃんはこの連続公演でちょうど入団2周年になるそう。これからも頑張ってください。

土日はすっかり恒例となった詩劇ライブ「皆既月食の夜に」も行われた。いつものように歌い終わったかわいい娘ちゃん(笑)が誘拐されるが、月形まりもは海外旅行中だ。少女探偵団のピンチを救ったのは自称名探偵冥王まさこ。帰国した月形に、挨拶代わりに「月蝕仮面はお前だ!」と突きつける。ここで次週に引っ張ります(爆笑)。翌週には、前回のあらすじが説明されたが、見ていない方はわかったかな?(^^;) 2人の月蝕仮面と少女探偵団を捕らえ処刑しようとする冥王まさこ。そこへ月蝕仮面が現れ2人を救い出す。月蝕仮面は3人いる?! もうどうなってるのかわからない展開。冥王まさこを倒し少女探偵団を救出する。何も知らずに倒れている冥王まさこを助け起こそうとした小ちゃん、月形に「こいつが私たちを捕らえたんです」と教えられと捨ててしまいます(^^)。曲は出演者に加え水音戯(愛葉るび)やダ・スコちんどん隊、黒色すみれが数曲ずつ披露した。『魔女の鏡』では合沢ボ・カルにダンスが天正・松宮、リンダ婦人の会(今年1月家畜人ヤブ-)再結成であった。

10日の夜は「月蝕歌劇団20周年の宴」と題してパ・ティ・が開かれた。ザムザ阿佐ヶ谷の客席がほぼ一杯になる盛況ぶりで、飲食物は役者達が届けてくれた。飲み物はビール、烏龍茶、オレンジジュース、日本酒など。ビールは足りなくなって途中で追加された(笑)。食べ物はフライドチキンやサンドイッチに餃子、寿司に混じってカレーがあるのが珍しいか。乾杯で高取氏は旗揚げの時10年は続けると宣言し、10年で格好よくやめるつもりだったが、もう少し、もう少しでここまで来てしまった。スタッフに恵まれたおかげだ。若い女の子を取っ替えひっ替え出して邪道だと揶揄する輩もいるが気にしないと語った。来賓や関係者に混ざってPANTAさんも挨拶していた。その後はビデオ上映会。初期の作品から「金色夜叉の逆襲」まで駆け足で15作品を紹介した。「家畜人ヤブ-」で木塚の雪隠候補生姿に喚声があがっていた。

今月の仁奈ちゃん!

新撰組を観に来ていた仁奈ちゃんを発見。ヨルクのソロコンサ・トにお花を持ってきたそうので出待ちの間取材を快くOKしてくれた。金色夜叉の際はSKi北海道取材のためお目にかかれなかった。動物看護の資格を取るため学校へ通っているそうだ。新撰組を観ながら、あたしあの台詞言った・・などと回想していたそうだ。復帰は?の声に観ちゃうとやりたくなりますね~とまんざらでもなさそう(サ・ピスト・クか?) 木塚やスギウラさんにソロモン(次回上演予定)で復帰?と呼ばれていた。学校の試験の合間の観劇だそうで、盲人書簡は来れないと言っていた。残念!! ちょうど来ていた森永や出てきた一ノ瀬と歓談するが、肝心のヨルクが出てこない。うめが呼んで来てやっと再会が果たせていた。



9月30日にHEAD POWERで行われたトゲトゲトカゲの司会を音娘。が務めた。今回のテ - マは音楽とア - トの融合。音娘。の2人も次第に感化されていく…。網靴下を買ってきて、アイラインをひいて、果ては唇を黒く塗って死化粧のよう。白塗りは小麦粉だそう。そのくせトークは素だったりする。メイク落とせるのか不安だそう。ふと「私達のポリシ - は？」10月はライブを休んでゆっくり考えるそう(ウソ)



10月20日に池袋手刀にてメルメル破廉恥印最後のライブが行われた。今日は「リクさん(て誰?)のお誕生会」だそうで、ステージ上には飾りつけがなされ、ケ - キにはろうそくが立ててある。客にはカラムーチョやポテトチップ、おせんべいが振舞われる。一方ドラムスのアンパンマンは客席にあんばんを投げつける。「皆さん気をつけてください、私もさっき攻撃されました」と小ちゃん。蠟燭に火が点けられ会場からリクさんが呼ばれる。小ちゃんの音頭で『Happy Birthday』が歌われる。MCではこのバンド4年やりましたと、ちょっとしみりモード。でも最後とか解散といった説明は一切無し。知らない人は今日が最後とは思わないだろう。トランプでもやってくださいと客にトランプを渡し、卓球持って来た小ちゃんがリクさんに渡すと対戦が始まる。よし、いい感じになってきたと次の曲へ。今回は割りりと初期の曲が多いそう。今後の予定では全員がそれぞれ自分のスケジュールを同時にしゃべる。こんな点にやっぱりもう一緒の活動は無いのか…と思ってしまう。先に言い終わった小ちゃん、指ですくってケ - キのクリ - ムを食べてます(笑)。この手でマイク持つとべとべとになってしまうと、手を拭きつつそれでも、最後の曲です！と言った後には間が空く。感無量といった感じでしょうか？最後まで力いっぱい歌い上げたのだった。

今月のOG

9月23～28日に池袋シアタ - グリ - ンのこけら落とし公演として「眠れぬ夜のホンキ - トンクブル - ス」が上演された。武蔵と太一は免職となり、高校の同級生だった太郎と、女性を癒すホストクラブ「ホンキ - トンク」を旗挙げる。太郎はかつて「ドルチェヴィ - タ」でNo.1ホストだった。ホスト募集で集まった5人はシオン以外は未経験者ばかり。素人集団の教育係を横浜No.1キャバクラ嬢のあんなが引き受けた。素人のやり方に嫌気が差したシオンは「ドルチェヴィ - タ」に移籍、シオンの強引なやり方とぶつかった「ドルチェヴィ - タ」のホスト暁介が代わりに「ホンキートンク」のメンバ - に加わった。そして開店の日、あんなが太郎を刺す。太郎がNo.1ホストだった頃、太郎に入れ込んでいたOLが店に通う金作りのために過労死していた。あんなはその妹だった。ホストなんて女を財布としか見ていないと思っていたあんなに、姉の墓に毎月命日にお花を供えていたのが太郎だと告げられる。太郎とみんなは、開店記念にと練習していたあんなの好きな歌を合唱する。理英ちゃんにあんな役、時に高飛車に、時にもろく、でも美しく華やかな舞台でした。



ちいさなしでかし

9月のSKiの生誕祭で、7代目リーダー河野伶奈から8代目リーダー松尾真冬にバトンタッチされました。2年間リーダーを務めた伶奈ちゃん、お疲れ様でした。また、新しくリーダーになった真冬ちゃん、慣れないことが多くていろいろ大変だとは思いますが、焦らずに一步一步、自分のカラーが出せるように頑張ってください。

リーダー継承式に続いて、伶奈ちゃんの卒業式が行われました。今でも卒業したのが信じられない方もかなりいるようで、本当に突然の出来事でした。でも、伶奈ちゃんの笑顔はいつまでも心の中に残っています。笑顔で新しい道に進んで行ってください。

10月13日のベトナムアンサンブルコンサートにSKiが出演しましたが、プログラムには橋本美香、制服向上委員会(松尾真冬、星川りりか、片平妃奈子)の表記が。実際美香ちゃん和其他の3人は別々に出てきたようだ。そう言えば、8月の「新生SKi」の中に美香ちゃんはいなかったなぁ。ちょっと心配だったり(^;)

話は変わって、10月から図書券の発売が終わってしまいました。これからは図書カードのみになってしまうようだ。「私は両方いいなっ」と言っていた時期が懐かしいですね(^)。

今月の新入生

.....(^;)

秋の収穫祭!

今年は何が実ったかな?

